

所蔵：相川郷土博物館

令和
5年度
総会

黄金の島の歴史を、未来に引き継ぐために。

佐渡金銀山 世界遺産 登録推進県民会議

どうゆう わりと
道遊の割戸
撮影：西山芳一

令和5年

5/27 **土**

◆13:00～15:00まで
(開場 12:30)

申込締切:5月24日(水)

会場 朱鷺メッセ 4F マリンホール(新潟県新潟市中央区万代島6-1)

定員 **250名** **入場無料**

(事前に参加申込みをお願いします。申込み方法は裏面を御覧ください。)

プログラム

- ◆佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議 総会
- ◆記念講演

「縄文遺跡群が世界遺産になって思うこと
～『佐渡島の金山』の明日に向けて～」(仮題)

講師 **岡田 康博** 氏
(三内丸山遺跡センター所長)

主催 佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議

参加申込み
お問合せ

新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室
Tel:025-280-5726 ホームページ <https://www.sado-goldmine.jp/>
E-mail:ngt150030@pref.niigata.lg.jp



手話通訳・要約筆記あり



いきいき県民カレッジ登録講座

令和5年度総会 佐渡金銀山 世界遺産 登録推進県民会議

「佐渡島(さど)の金山」とは

「佐渡島の金山」は、16世紀末～19世紀半ば(戦国時代末～江戸時代)にかけて、豊かな金鉱山の島・佐渡島において徳川幕府の管理運営の下、海外との技術交流が限られる中、ヨーロッパとは異なるシステムとして発展を遂げました。世界に誇る量と質の金を生産するとともに、伝統的手工業による大規模かつ長期にわたる継続した金生産システムを示す、稀有な産業遺産です。

黄金の島の歴史を、
未来に引き継ぐために。

記念講演

「縄文遺跡群が世界遺産になって思うこと ～『佐渡島の金山』の明日に向けて～」(仮題)

1957(昭和32)年青森県弘前市生まれ。1992(平成4)年から三内丸山遺跡の発掘調査責任者となり、遺跡の調査研究や整備活用を手がける。その後、文化庁記念物課文化財調査官、青森県教育庁文化財保護課長を経て、青森県企画政策部世界文化遺産登録推進室室長、2021(令和3)年4月より青森県世界文化遺産登録専門監として世界遺産登録を実現。2022(令和4)年4月より現職。

主な著書

「三内丸山遺跡－復元された東北の縄文大集落」(同成社2014)、
「世界遺産になった縄文遺跡」(同成社2021)など多数。

講師 岡田 康博 氏(三内丸山遺跡センター所長)



【お申し込み方法】

参加御希望の方は、電話、電子メール、専用フォームのいずれかにてお申込みください。

▶電話・電子メール

以下の項目を御連絡ください。

(参加人数、氏名、住所、電話番号、メールアドレス※参加者全員についてお知らせください。)

▶専用フォーム

スマートフォン等で右の二次元コードを読み込んで専用フォームにアクセスし、必要事項を御入力ください。

※ 定員超過により御参加いただけない場合、事務局より連絡いたします。

申込締切
5月24日(水)

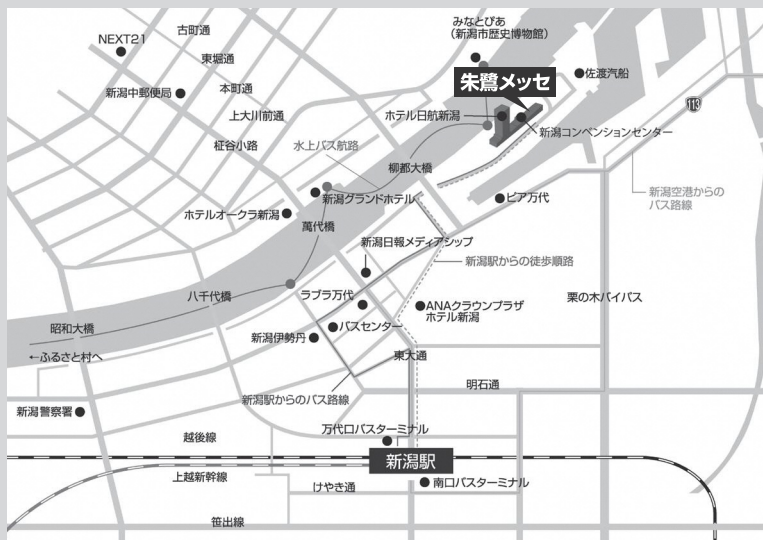


【参加申込み・お問合せ先】

新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室
〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1

Tel: 025-280-5726

E-mail: ngt150030@pref.niigata.lg.jp



会場アクセス

新潟駅(万代口から) 路線バス(佐渡汽船行 朱鷺メッセ下車)約15分、タクシー:約5分、徒歩:約25分

自動車:北陸自動車道 新潟西IC(新潟バイパス経由 約12km)約20分

会場周辺の駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関を御利用ください。

お車で越しの場合は、近隣の駐車場(有料)を御利用ください。

御参加に当たっての注意事項

- 熱がある場合、その他体調不良の場合は来場を御遠慮ください。
- 手洗いや手指消毒に御協力ください。
- 事前に参加申込みをされていない方の入場は認められません。